



改元記念特集

広報誌で振り返る「平成」の幌延町

No.4

幌延町広報誌「ほろのべの窓」2003年7月号 No.465 (平成15年7月号)

[こんなことが掲載されました]

特集 市町村合併問題 ～町政懇談会における質問・意見～

平成15年は、広報誌で市町村合併問題の特集を盛んに組み始めた時期でした。当時、国は厳しい財政状況を打開しようと小規模自治体の合併を進めており、本町は、近隣町との合併を提案されていました。

同年7月号では、合併の是非について話し合った町政懇談会の様子が4ページにわたり掲載されました。参加者は153名と例年に比べて多く、関心の高さがうかがえます。

合併の長所・短所を説明する町に対し、町民からは「幌延単独でやっていけるのか」「合併を優遇する時期を逃して不利益を被りたくはない」など質問や意見があがりました。ページの終わりは、町の意見として「町民自ら地域の将来を考え、子孫のために何をなすべきかを考える機会を今後も持ちたい」と締めくくられています。

翌年、幌延、天塩、豊富、中川による「西天北4町任意合併協議会」が設立されました。4カ月にわたって5回の協議会を開きましたが、最終的には合併の一致点を見いだすことができず、各町それぞれが単独の道を選びました。

ちなみに、平成13年1月号から広報誌の名称が「広報ほろのべ」から「ほろのべの窓」に変わっています。広報誌に愛称をつけようと公募し、町民66名の応募の中から選んだ名称に決まりました。この愛称は、令和の時代になった今も引き継がれています。



▲表紙は「幌延小学校大運動会」でした。

ほろのべの裏窓

8月号から広報誌編集を担当することになりました住民生活課生活グループの齊藤です。町民の皆さんに必要な情報を、「見やすい写真」「分かりやすい文章」にしてお届けできるよう頑張ります。写真撮影の際に心がけていることがあります。それは、「誰か」「何を」「何を」を明確にすること。そのためには、これでもかというほど多くのカットを撮る必要があります。子ども園運動会では、気がつけば撮影枚数が千枚を超えていました。選別作業に時間はかかりましたが、表紙を含め掲載に値する5枚の写真を載せることができました。数多くシャッターを切る中で面白いことに気づきました。それは、負けん気が表情に出し、勝負にこだわり始める園児が年長さんからぐっと増えること。レン園児たちを見て、微笑ましい気持ちになりました。

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください● 住民生活課生活グループ

電話：5-1112 / 告知端末機：5-8812



男 1,180 (+2)

女 1,126 (+5)

計 2,306 (+7)

世帯数 1,249 (+7)

(令和元年6月末日現在) ※()内は前月比

わが家のエンジェル



尾内 颯友くん (平成30年11月25日生・中間巻) お父さん 満希さん お母さん 亜紀さん わが家の第二子の颯友です。少し人見知り気味の男の子ですが、時々見せる満面の笑みが家族の癒しです。健やかに、友達想いの子に育ってね。



伊藤 詩乃ちゃん (平成30年11月26日生・1歳半1) お父さん 誠さん お母さん 希美さん わが家に生まれた長女の詩乃です。お散歩が大好きで、抱っこ紐を見るとそれまで不機嫌だった顔が笑顔に変わります。毎日ニコニコ元気に育ってほしいです。